

申請書記入上の注意

※奨学生規程の閲覧を希望する方は学生生活課まで申し出てください。

申請書裏面「4. 学費等生活費に係る年間収支見込み」欄の記入について

4. 学費等生活費に係る年間収支見込み

※以下に記載した金額等が収入証明書類と一致しない場合、証明書類の数値を基に選考を行うことがあります。
 ※合計する際に、1万円未満を切り捨てて記入してください。

●令和6年支出見込み金額

支出項目 (I)	金額
入学金	(ア) 万円
授業料	(イ) 万円
施設費等諸費	(ウ) 万円
通学費・図書費等	(エ) 万円
食費	(オ) 万円
居住費	(カ) 万円
光熱費・水道代・通信料等	(キ) 万円
その他費用	(ク) 万円
合計	万円

●令和6年収入見込み金額

収入項目	金額 (II)
学生本人の経常的(定職)収入	万円
学生本人のアルバイト収入	万円
父母からの給付	万円
配偶者からの給付 (II)	万円
父母・配偶者以外からの給付 (え)	万円
預貯金から取り崩しする金額 (お)	万円
奨学金(給付) (か)	万円
奨学金(貸与) (き)	万円
合計	万円

各種収入金額記入欄

(家計状況に関する証明書類に基づく、令和6年1月～2月の収入見込み金額)

	給与支払金額 (あ)	収入・売上金額 (い)	所得金額 (う)
本人	万円	万円	万円
父	万円	万円	万円
母	万円	万円	万円
配偶者	万円	万円	万円

支出額 ≤ 収入額であることを確認!! (III)

以下、記入の必要がある方のみ記入してください

5. 年額算定に必要な金額・計算式等 ★該当者のみ★

配付書類⑤「提出書類詳細プリント」において、(く)～(し)の記入が必要な書類を提出する場合は、説明に従い以下の欄に必要な金額等を記入してください。

(く) 収入状態①: 平均月収から年額を推算 (総支給額から非課税の交通費除く)

()月	()月	()月	平均月収	年間収入金額	直近3か月の書類を出すことができない理由
円	円	円	円 × $\frac{15}{12}$ =	円	

(け) 収入状態②: 平均収入・所得から年額を推算

収入・売上 (3か月)(i)	必要経費 (3か月)(ii)	所得(3か月)(iii)=(i)-(ii)	収入・売上(年間)(iv)=(i)×4	所得(年間)(v)=(iii)×4
円	円	円	円	円

(こ) 収入状態③: 令和5年給付予定額を推算

基本手当日額	所定給付日数	令和5年12月以前の受給額	年間給付予定額
円 ×	(こ) 日	円 =	円

(さ) 収入状態④: 月額から年額を推算

月額	年間給付予定額
(さ) 円 × 12 =	円

(し) 収入状態⑤: 傷病手当金の支給金額から年額を推算

支給金額	支給日数	年間給付予定額
円 ÷	(し) 日 × 365 =	円

6. (す) 収入に関する事情 ★該当者のみ★

配付書類⑤「提出書類詳細プリント」において、(す)の記入が必要な書類を提出する場合は、説明に従い以下の欄に必要な金額等を記入してください。

(す)

記入者氏名

印

続柄

(申請書ここまで)

(I) 令和6年支出見込み金額の記入欄について

令和6年1～12月に支出が見込まれる金額を項目ごとにそれぞれ記入し、合計額を算出してください（合算額は1万円未満切捨）。支出が見込まれない項目については「0」と記入してください。

なお、採用後に実際の支出金額を面談等で確認する場合があります。

- (ア) いずれの研究科も25万円です。「25」と記入してください。
ただし、本大学院在籍者および令和6年度入学予定の内部進学者は「0」と記入してください。
- (イ) 授業料はいずれの研究科も56.3万円です。
※長期履修生は金額が異なります。学生生活まで申し出てください。
- (ウ) 施設費等諸費は以下の通りです。

文学 経営学	経済学	法学	社会福祉学	地球環境科学	心理学
12.3 万	15.0万	(2022年以前入学) 12.3万 (2023年以降入学) 13.5万	15.5万	(環境システム) 29.5万 (地理空間システム) 21.5万	(2019年以前入学) 19.0万 (2020年以降入学) 22.0万

- (エ) 見込み金額を合算して記入してください。
- (オ) 父母などの生計維持者と同居している場合は、生計維持者に食費として支払っている額や、外食等での見込みの額を記入してください。【例：2（万円／月）×12（か月）＝24（万円）】
- (カ) 家賃や住宅ローンの支払いなど居住費が発生している場合はその金額を記入してください。契約等が済んでいない場合は、予定の見込み金額を算出・記入してください。
- (キ) 父母などの生計維持者と同居している場合は、自身が支払う分だけ見込み金額を記入してください。
- (ク) 交際費や次年度学費への積立金等、(ア)～(キ)に該当しないものをすべて合算して記入してください。

(II) 令和6年収入見込み金額の記入欄について

1. 配付書類④「提出書類チェックシート」（以下、チェックシート）を記入してください。（チェックしたものを大学に提出します。）

チェックシートの（1）：特別控除に関する質問

設問すべてに対し「はい」か「いいえ」に○をご記入ください。

チェックシートの（2）（3）：収入に関する質問

8項目のうち当てはまる項目の【 】内に○をご記入ください。なお、回答欄右側の「提出書類」欄に「P.●《～》で該当する書類」と記載があった場合は、**P.2～3**の該当箇所についてもご回答ください。

2. 配付書類⑤「提出書類詳細プリント」（以下、詳細プリント）をご確認ください。

チェックシート「提出書類」欄のアルファベットに対応する書類をすべてご用意ください（大学に提出します）。ご用意いただいた書類に基づき、詳細プリント「申請書に記入する金額」欄の金額を算出してください。

3. 配付書類②「令和6年度 大学院橋経済支援奨学生 申請書」裏面(あ)～(す)に上記2で算出した金額を記入してください。

もし同じ欄に複数の収入を記入しなければならない場合は、金額を合算して記入してください。

(か)には、今回申請する大学院橋経済支援奨学金、過年度（令和5年度含む）の大学院橋経済支援奨学金および立正大学大学院研究科別奨学金の金額は記入しないでください。

※令和5年の収入状態から令和6年の収入を推定します。具体的な収入金額が不明なもの（入学後はアルバイトを始める予定）などは、「0円」と記入してください。

(III) 支出額≦収入額であることの確認について

(I)で記入した支出見込みの合計金額が、(II)で記入した収入見込みの合計金額を超えないようご注意ください。もし支出が収入を上回った場合は、(I)および(II)の金額を見直してください。